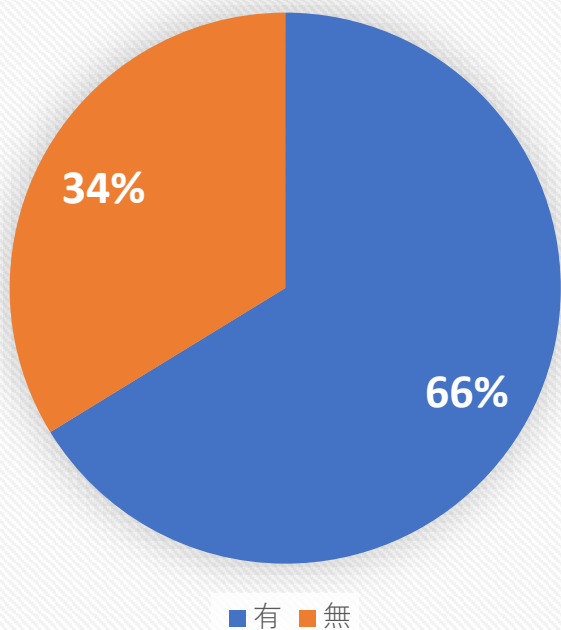


仕事と生活(子育て等)の調和に関するアンケート調査結果について

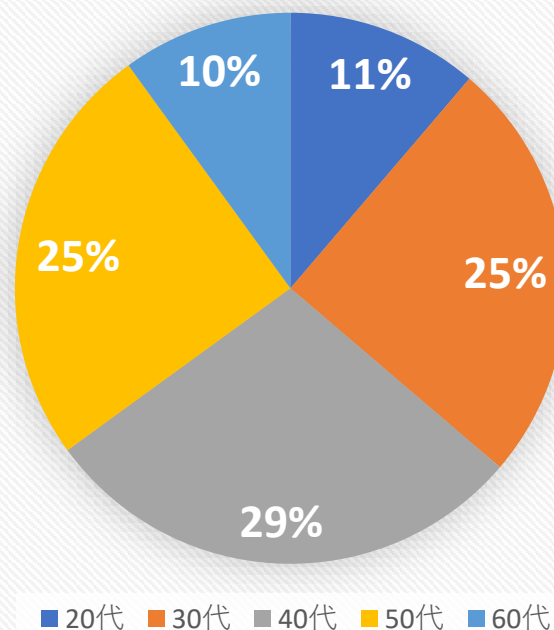
【アンケート調査の概要】

■調査期間	令和3年2月24日(水)から令和3年2月26日(金)まで
■調査方法	SKYSEA のアンケート機能を利用
■調査対象	全職員 90 人（会計年度任用職員、再任用職員を含む） ※長期休業中の職員を除く
■回答率	88%(80 人)

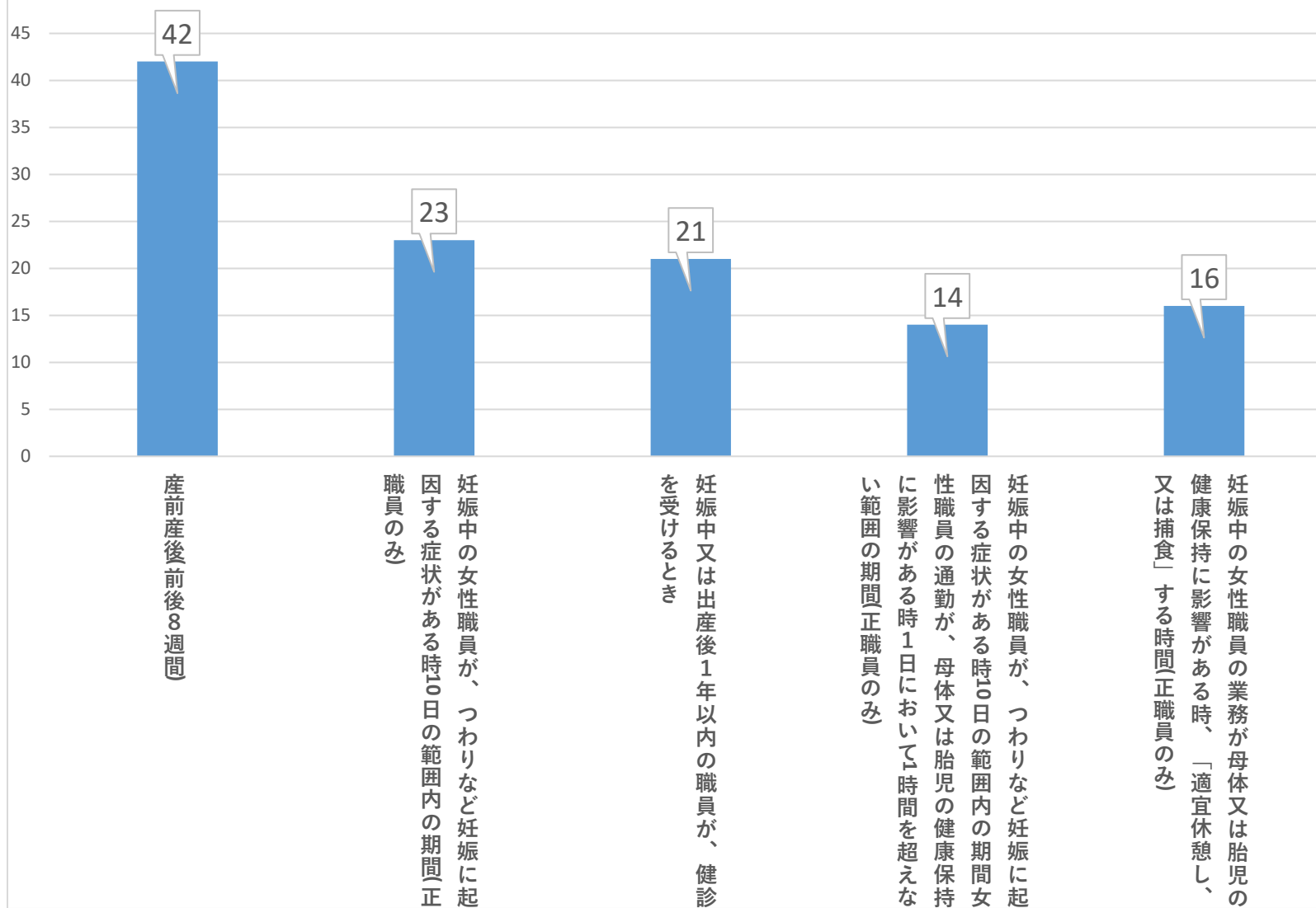
子供の有無



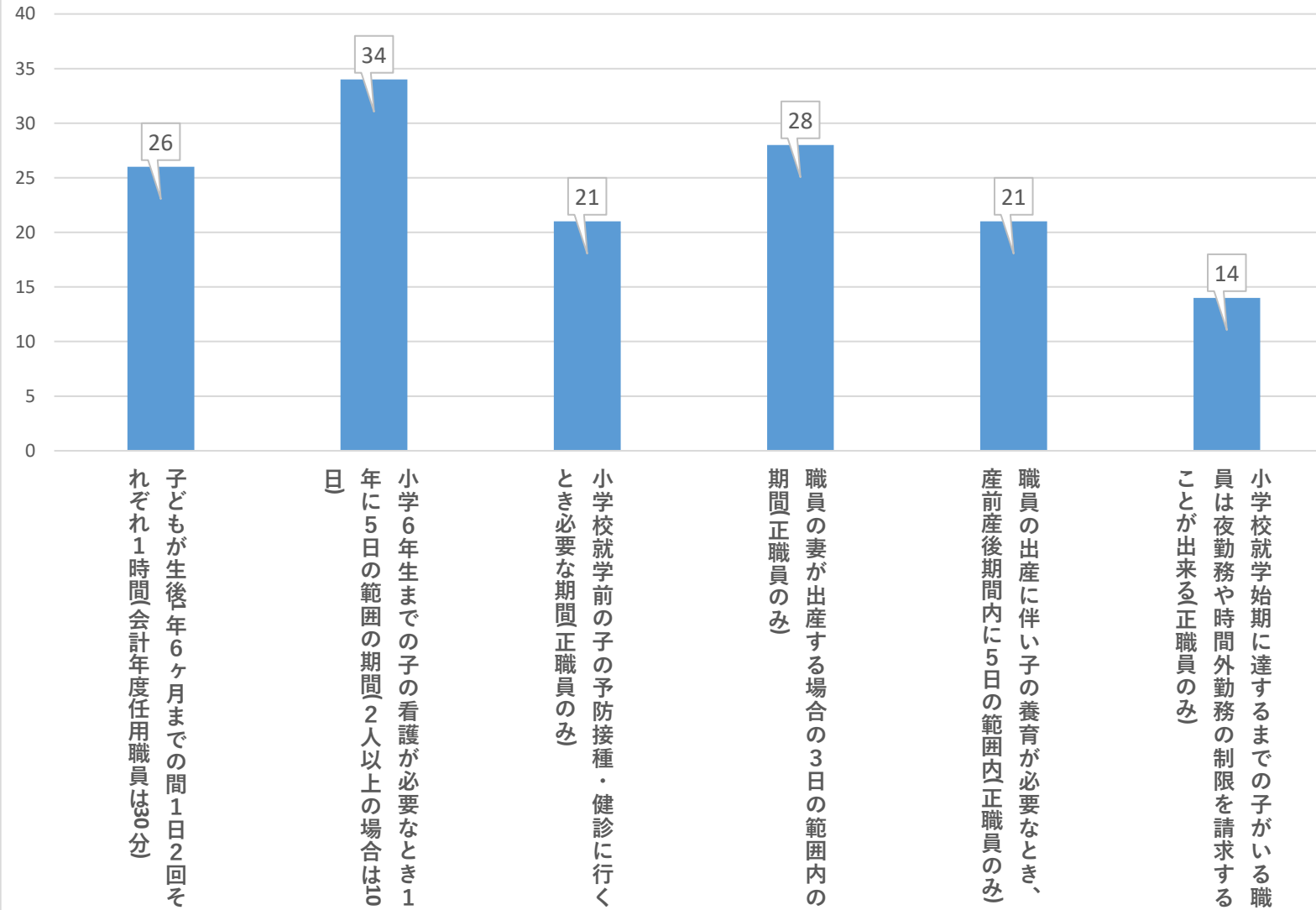
年齢区分



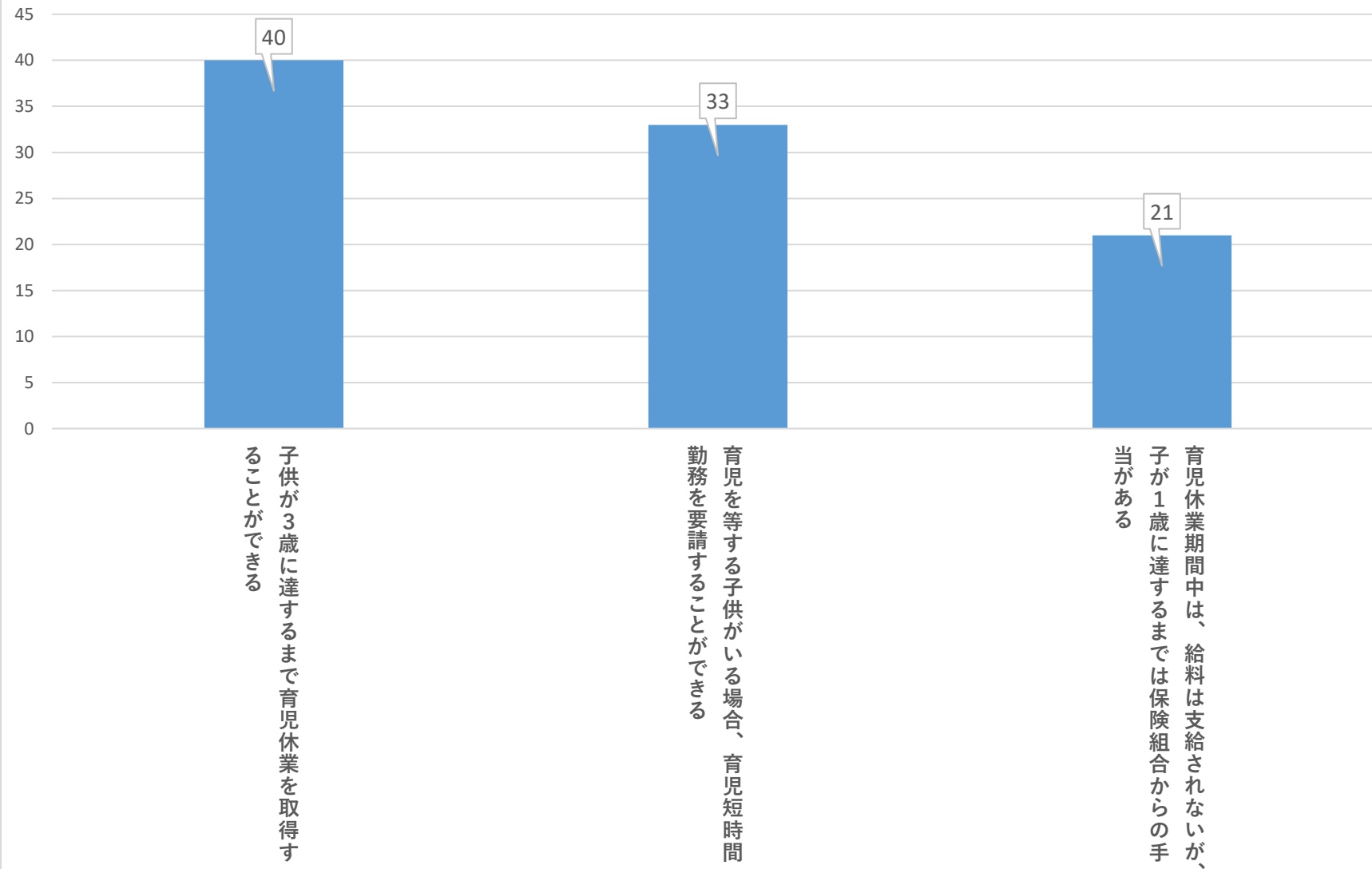
問1-1 母性保護、母性健康管理に関して知っている制度はありますか。



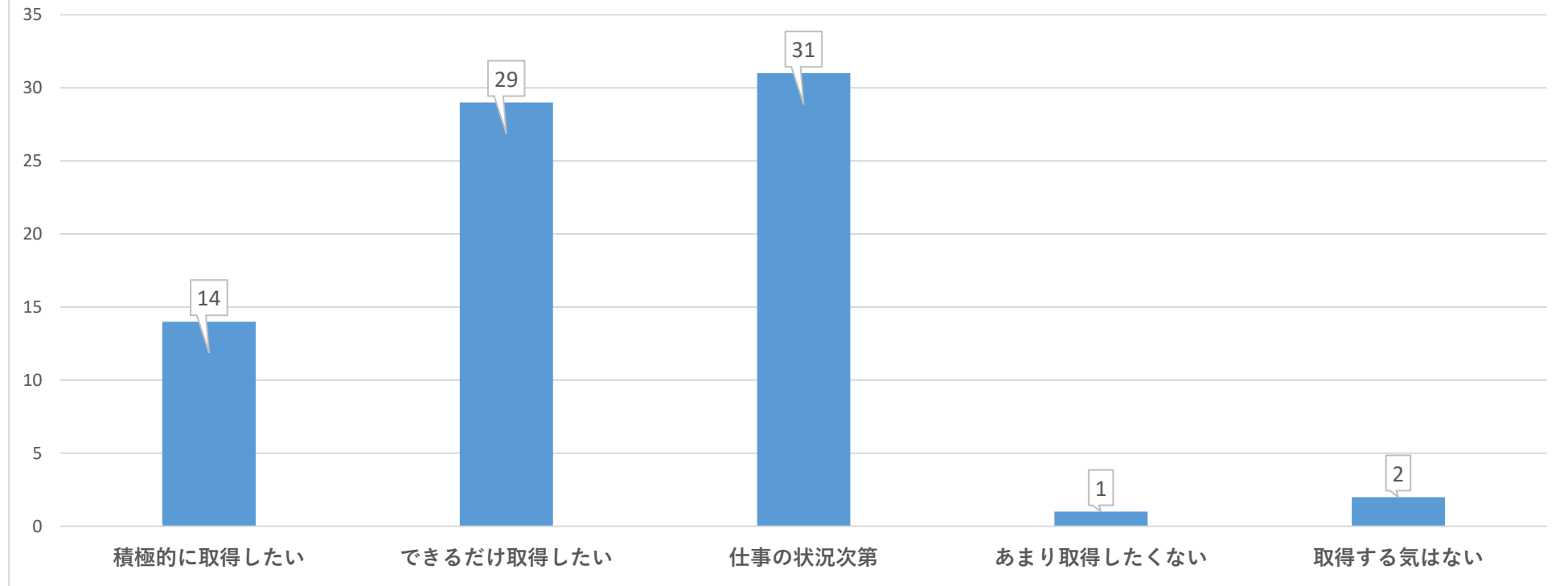
問1-2 子育てに関して知っている制度はありますか。



問1-3 育児休業制度について知っている項目はありますか。



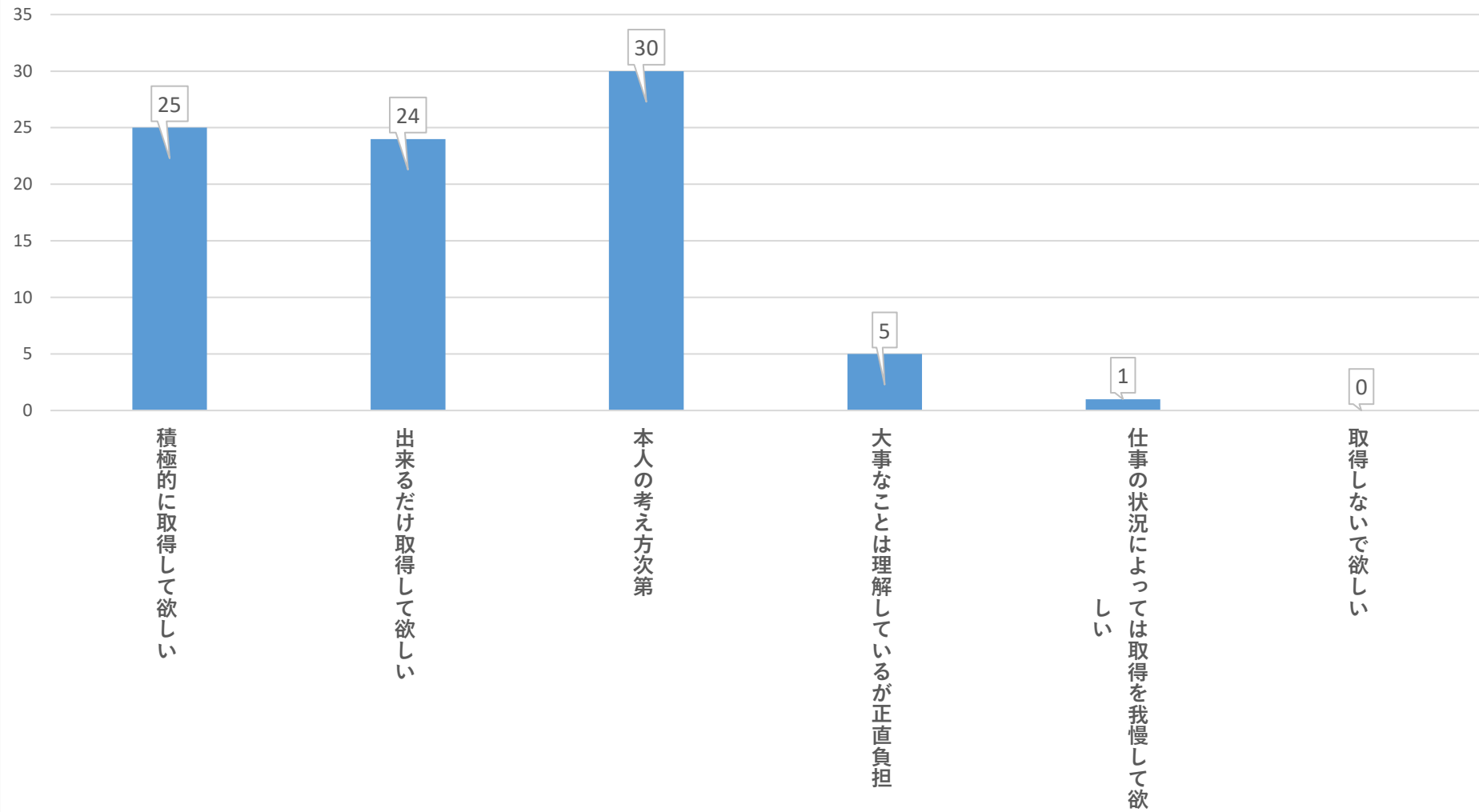
問1-4 あなたが仮に育児休業もしくは子育てに関する休暇を取得出来るとしたら
取得しますか。



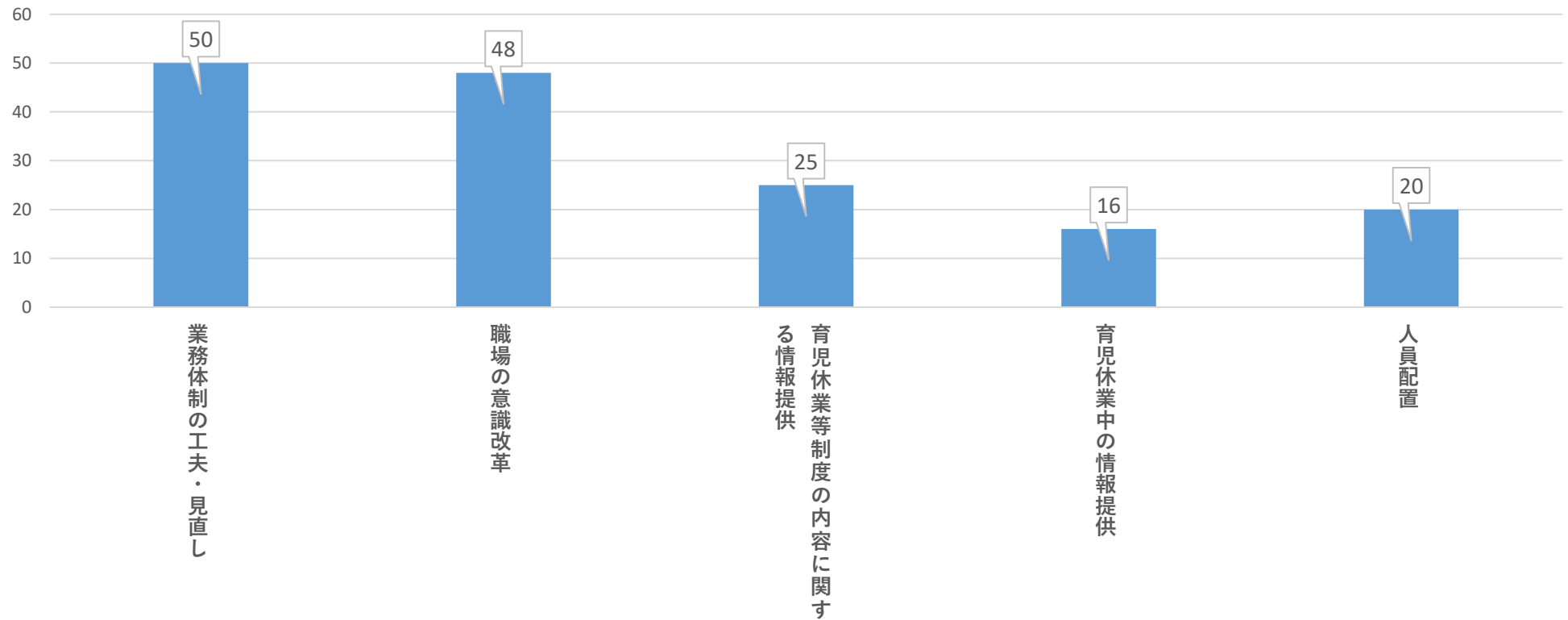
○「あまり取得したくない」、「取得するつもりはない」の理由

- ・業務が繁忙であるため
- ・職場に負担をかけるため

問1-5 同じ職場の人が育児休業もしくは子育てに関する休暇を取得することについてどう
思いますか。



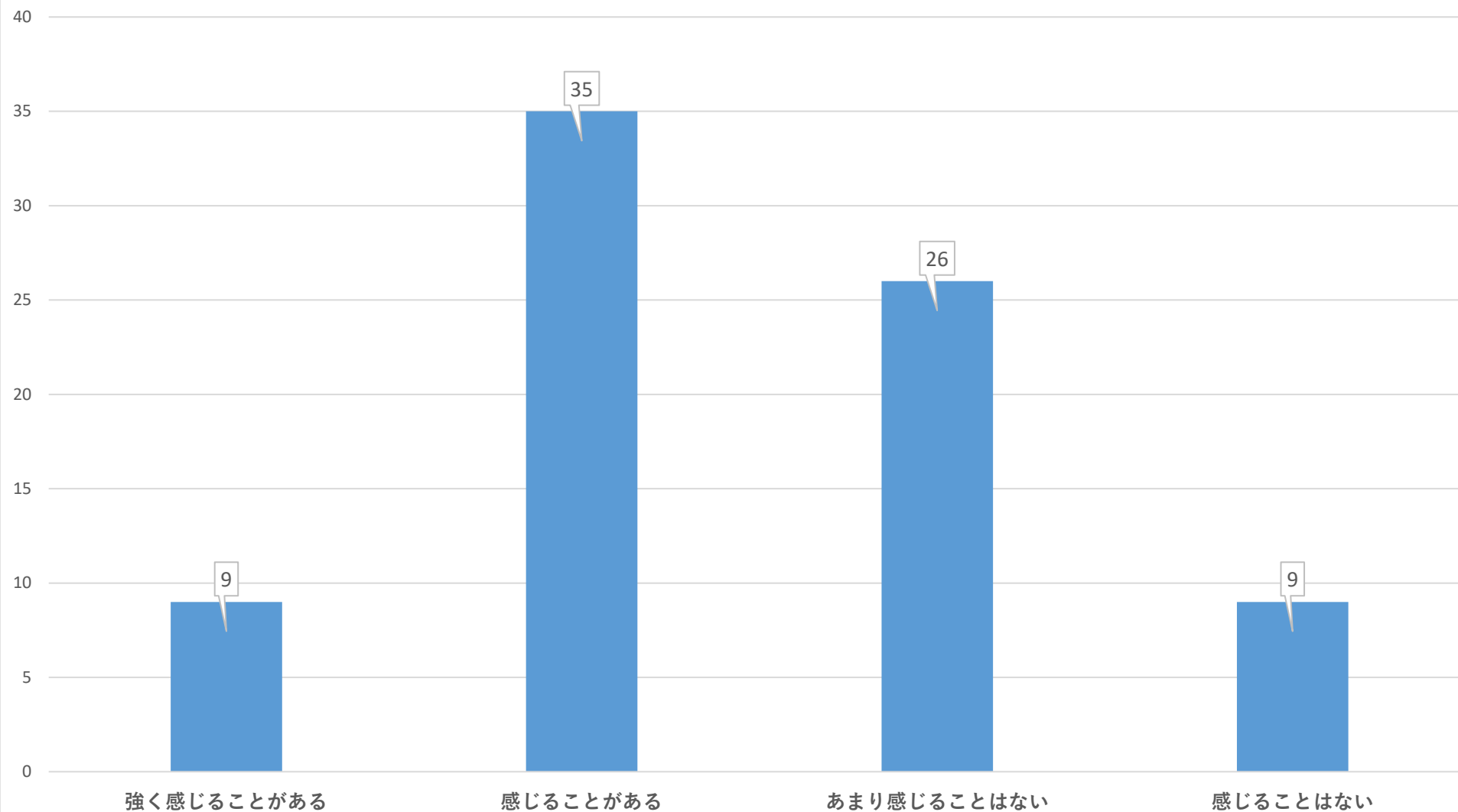
問1-6 育児休業・子育てに関する休暇の取得を促進するために、どのような取り組みが必要
と思いますか。



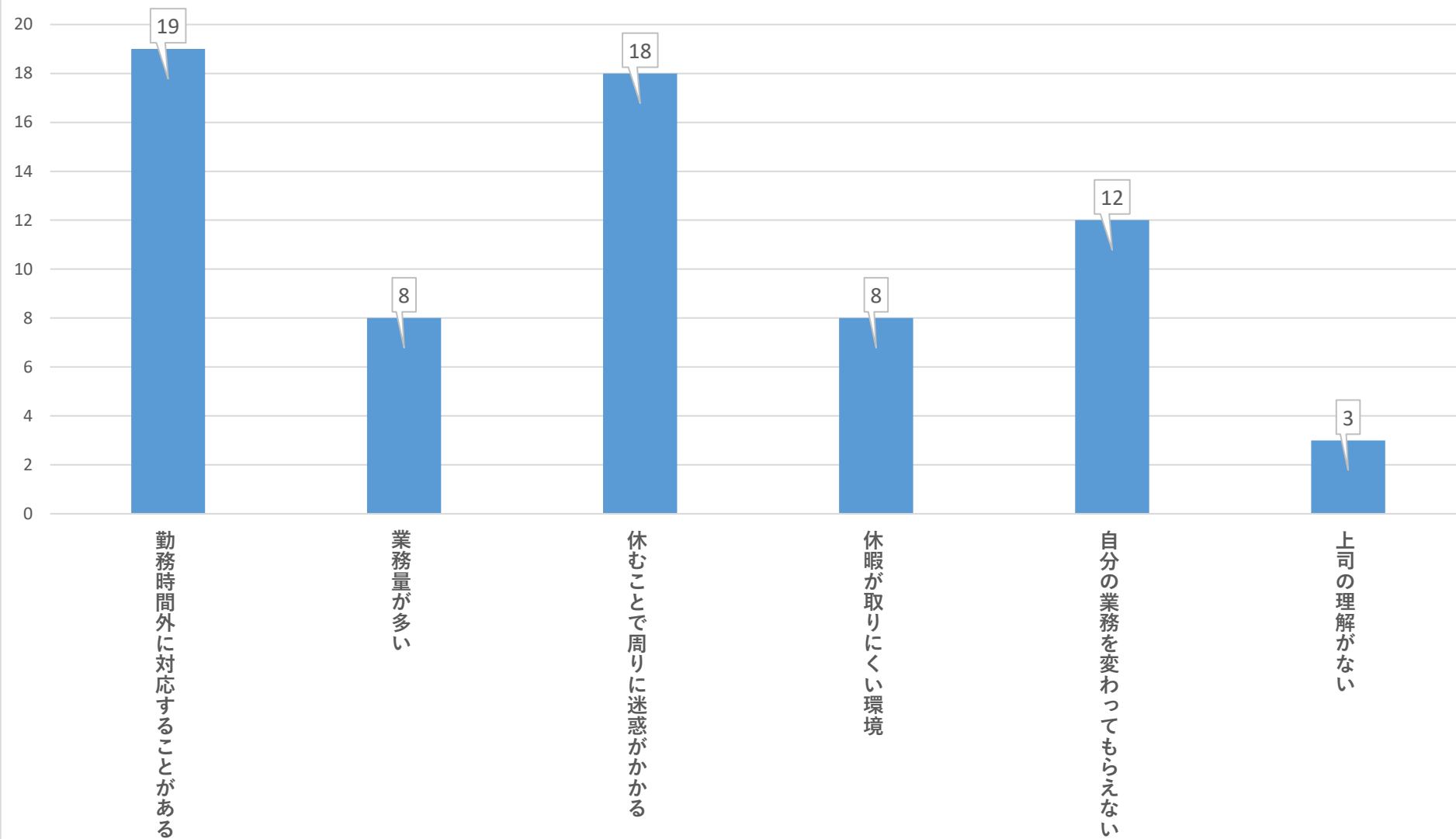
その他

- ・ 人員確保
- ・ 上司の気配り・知識
- ・ 職員定数の増

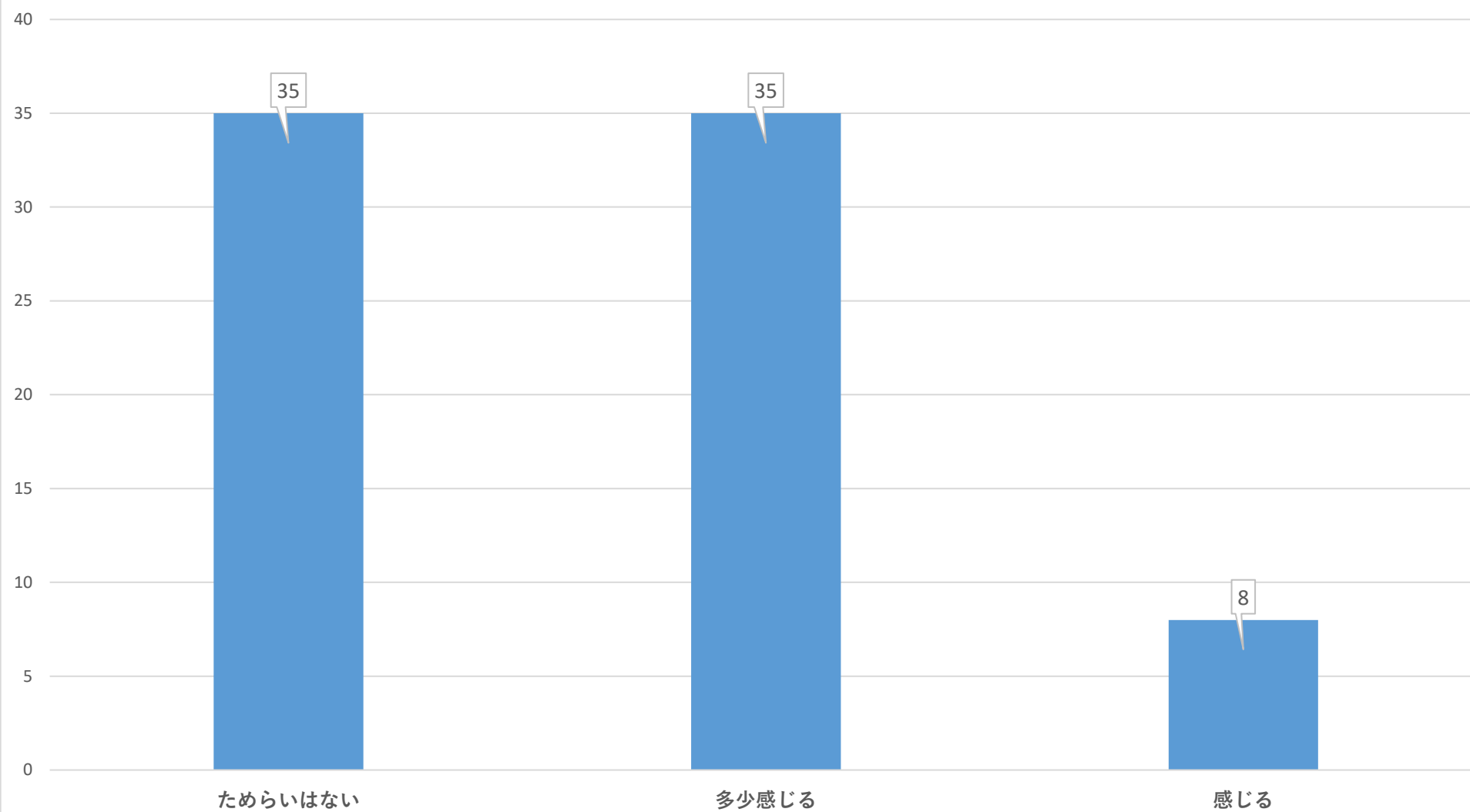
問2-1 あなたは、仕事と生活の両立について困難や不安を感じることはありますか。



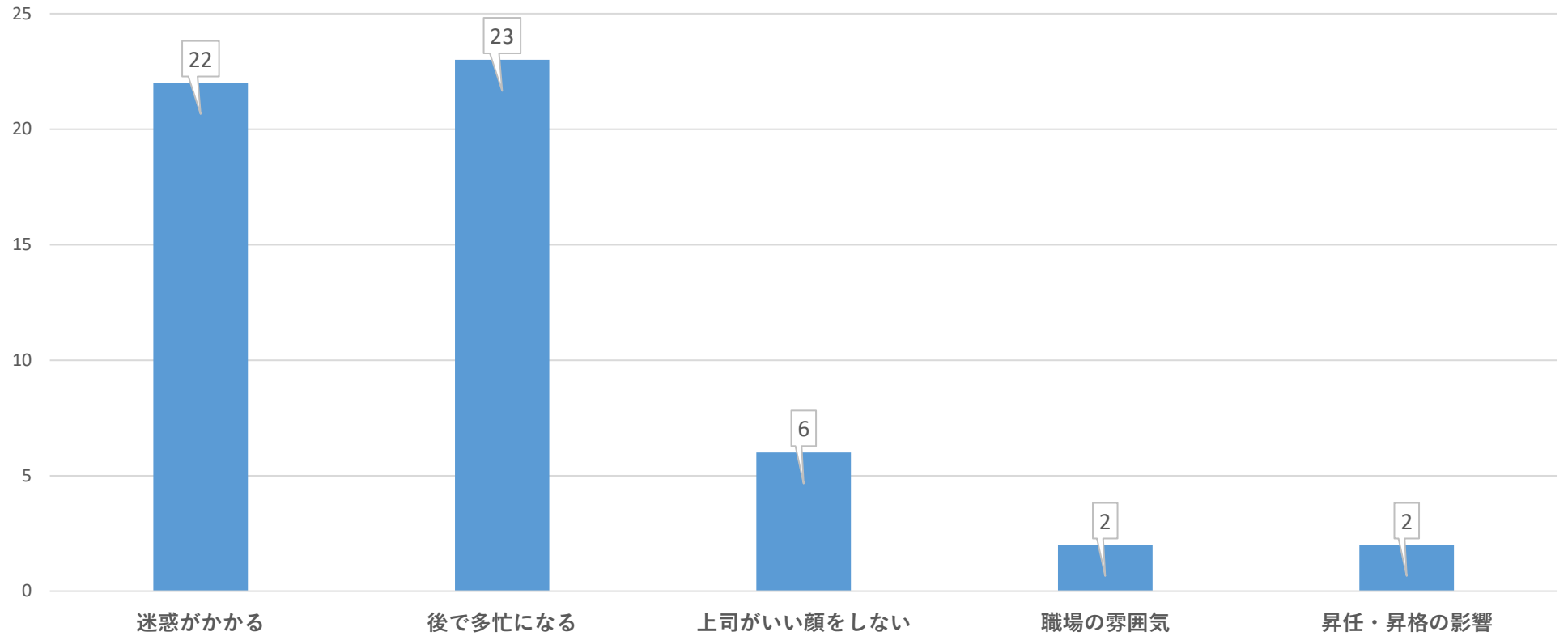
問2-2 問2-1で「強く感じることもある」、「感じることもある」と答えた理由



問2-3 年次休暇を取得することに「ためらい」を感じますか。



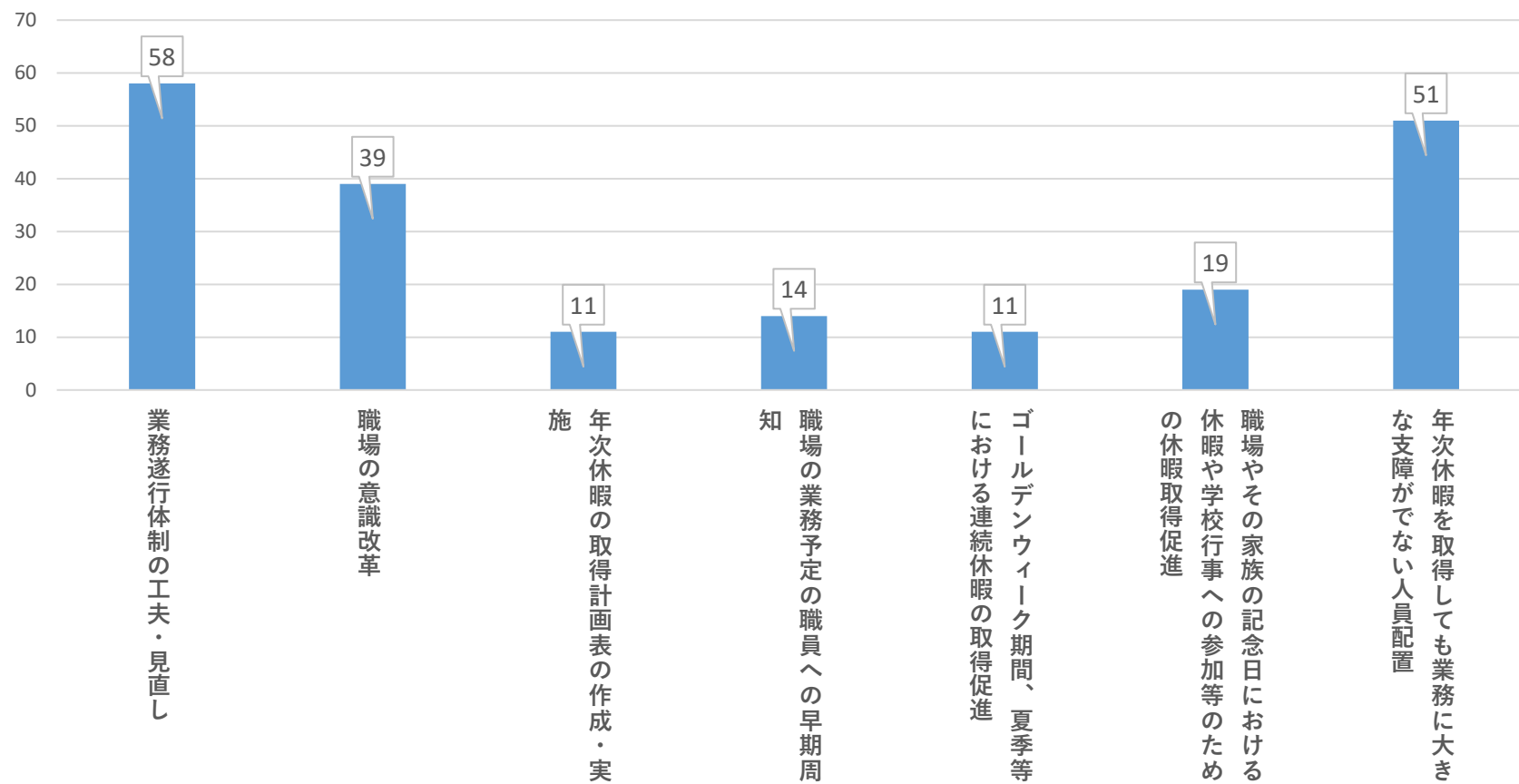
問2-4 問2-3で「ためらいを感じる」、「多少ためらいを感じる」と答えた理由



その他

- ・ 係内で取得の差がある、自分の業務を誰かに変われない、人員不足
- ・ 年次休暇が少ないから、調整が出来ず取得しにくい。
- ・ 他者の年次休暇等、期限がある仕事の負担を考えると、自分の年次休暇は後回しになる。一人に負担をかけるのではなく仕事の分散を考えてほしい。

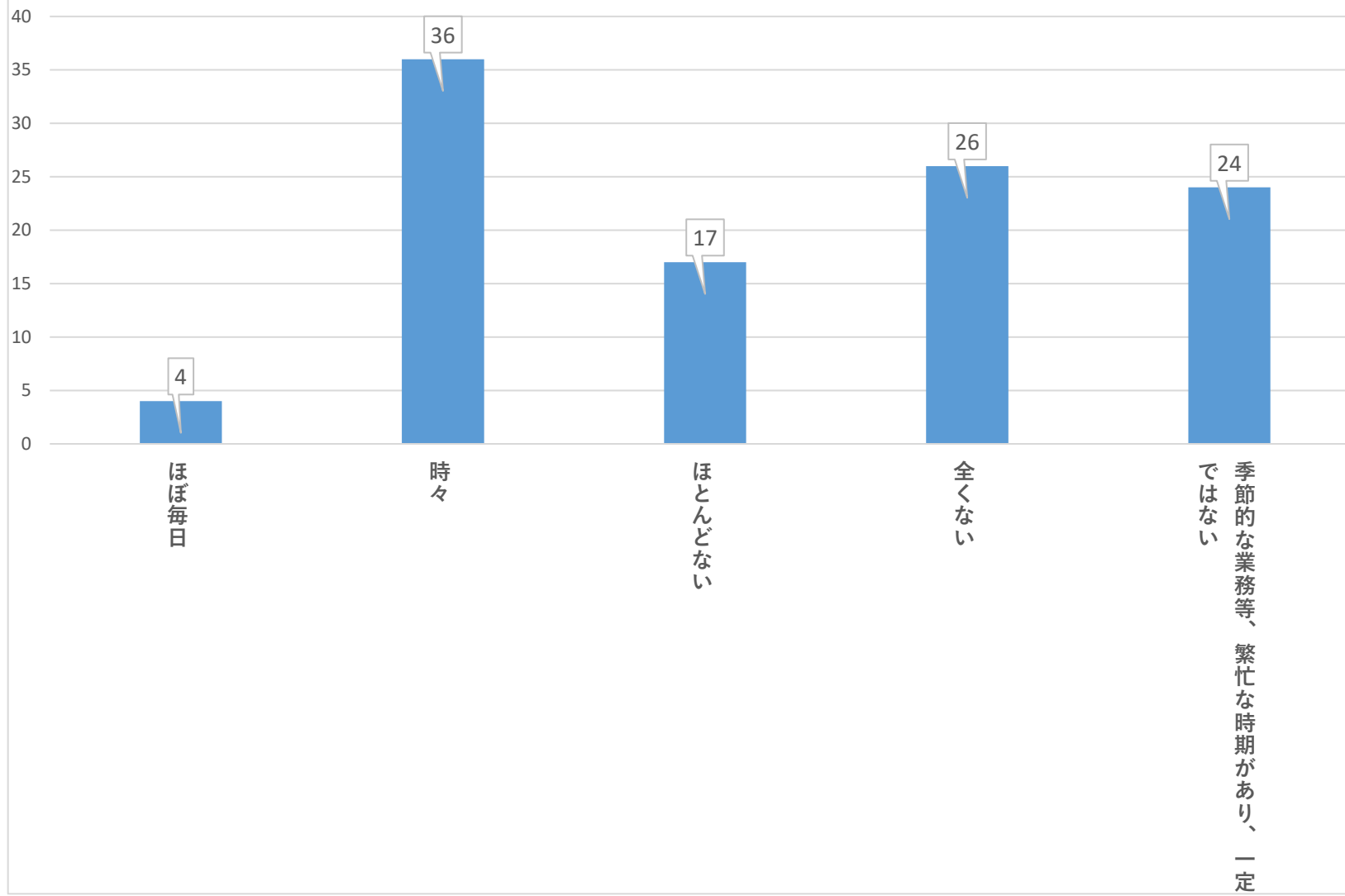
問2-5 年次休暇を取得するために、どのような取り組みが必要と思いますか。



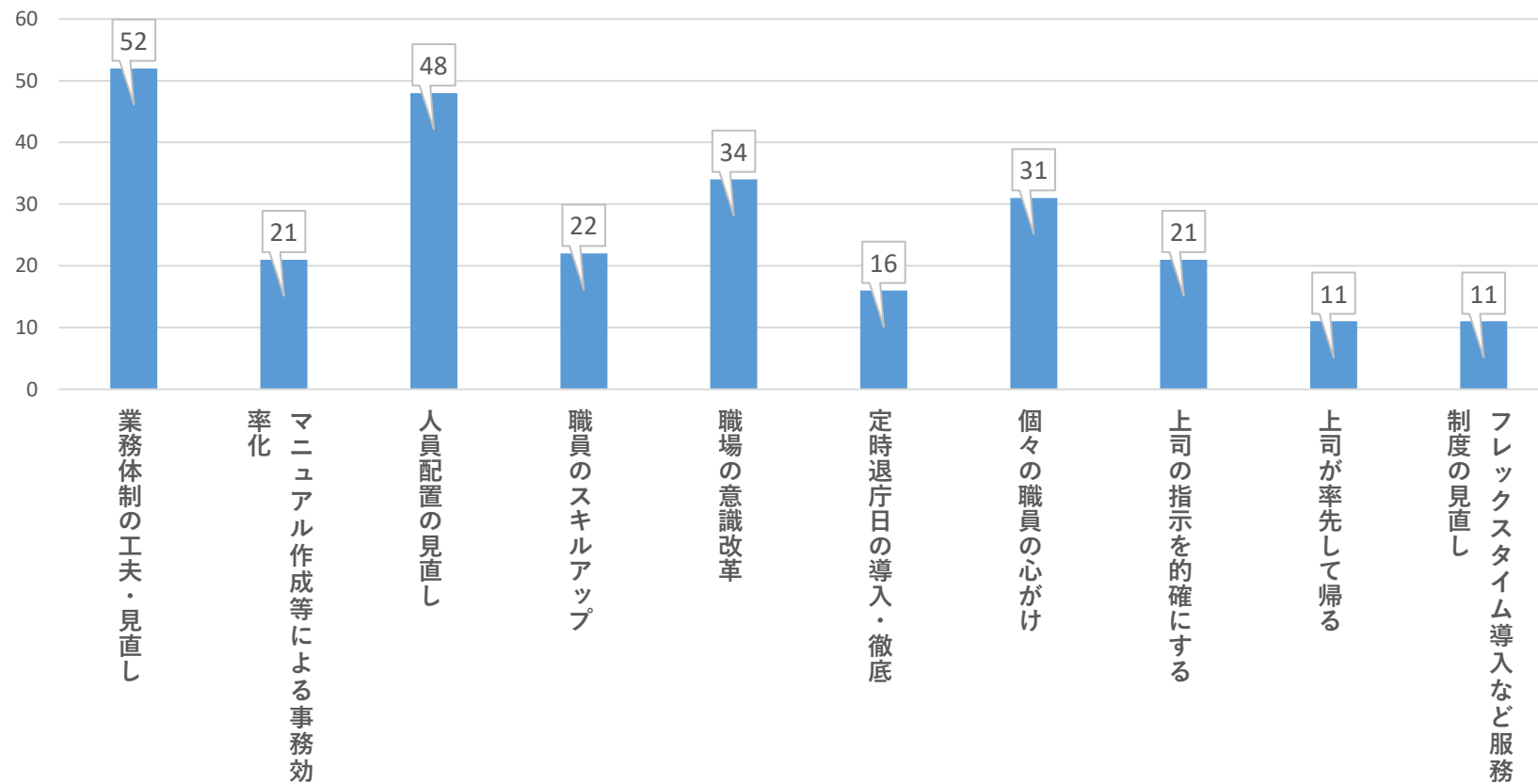
その他

- ・ 休暇処理決裁の電子化
- ・ 上司の意識改革
- ・ 人員定数の増
- ・ 業務内容の共有
- ・ 自分のスキルアップ

問2-6 勤務時間外に業務を行う日がありますか。



問2-7 時間外勤務を縮減するために、どのような取り組みが必要と思いますか。



その他

- ・ 緊急時以外は以前申請する
- ・ 人員不足
- ・ 上司のスキルアップ
- ・ 民間業務委託
- ・ 職場の状況把握

問3 その他

- ①子育て関係だけではなく職員と会計年度職員に与えられる有給の格差を無くしてほしい。
- ②子供の看護休暇を無給ではなく有給にしてほしい。
- ③イベントやレクリエーションを開催しているのであれば、誘ってください。知らないでいることが多いです。
- ④水道フェスティバルに子どもと参加した
- ⑤親子での事業参加における業務と子育ての線引き（例えば植樹に親子で参加する場合、ほぼ子供にかかりっきりになるが、それが業務として認めもらえるのか、など）
- ⑥管理職の指導を行う必要がある。
- ⑦各係の実情に合わせて余裕のある人員配置が必要。